

ひまわり福祉会だより

発行所 社会福祉法人 ひまわり福祉会

令和8年1月

第40号

〒761-4122
小豆郡土庄町上庄463-2
TEL: 0879-62-4636
FAX: 0879-62-4650

URL: <http://www.himawari-olive.jp>

令和8年も新たな気持ちで頑張ります!!



みんなで初詣 (伊喜末八幡神社にて)



すくすく教室の
余島デイキャンプ



クリスマス会
(ステージでの集合写真)



地域交流納涼大会
(食堂にて)

グループホームソレイユBが小豆島に住む障害のある方にとって、また高齢化してきている保護者の方々にとっても、頼りになるグループホームになるように、令和8年7月の開業に向けて邁進していきます。最も不安なことは、この人手不足の状況の中で、必要な職員を確保できるのかということであり、皆様方のお一層のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

多くの関係者のご意見やご要望に耳を傾け、よりよい施設をつくりたいという思いで精一杯努力を続けてきました。しかしながら、様々な制約があり、全てのご要望に応えることができていないように感じています。

新たなグループホームの創設は、ひまわり福祉会関係者にとって、長年の夢であり、また大きな課題でもありました。土庄町・小豆島町の全面的なご支援や地元瀧崎自治会や様々な関係諸機関の温かいご理解を得て、令和7年度に実現に向けて本格的に前進することができました。それも最高の場所である小豆島老人ホームおりのぶの東隣広場にグループホームソレイユBを建設することができ、まずひまわり福祉会を代表して心よりお礼を申し上げます。

社会福祉法人ひまわり福祉会
理事長 橋本 明彦

グループホーム
ソレイユBの創設

グループホーム ソレイユBの 開業に向けて

ひまわり福祉会では、令和8年の夏に新たなグループホームの事業開始に向けて、土庄町澗崎自治会や土庄町・小豆島町等の全面的なご理解とご協力のもと進めてまいりました。その結果、ようやく令和7年9月から土庄町澗崎の小豆島老人ホームおりーぶの東隣にある多目的広場で新築工事を開始でき、今年の春には完成予定となっています。

施設設備・利用の概要

グループホームソレイユBは木造2階建ての構造であり、全ての居室は南向きの個室(洋室)で、それぞれの階に5居室あります。各居室には、照明やエアコン等を常設しています。共用の施設としては、食堂、リビング、(車椅子対応)トイレ、浴室、洗面所、洗濯室等があります。また、共用の家電として、洗濯機、乾燥機、テレビ、冷蔵庫等を設置しています。施設を利用できる方は、入居者が7名、短期入所が2名、緊急時受入が1名です。入居の対象者は、

主に知的な障害のある方で、日常生活の動作がある程度自立した方を想定しています。また、2階は、女性の方のみの利用にします。

入居者募集については、町の社会福祉協議会の広報紙に掲載をお願いしたり、小豆郡内の障害者支援事業所に案内状を配付したりする等、広く町民の方々にお知らせしたいと考えています。また、春頃には入居者募集を開始し、開業前に見学会等も開催する予定です。

利用料金につきましては、詳細が決まり次第、入居者募集の際にお知らせします。

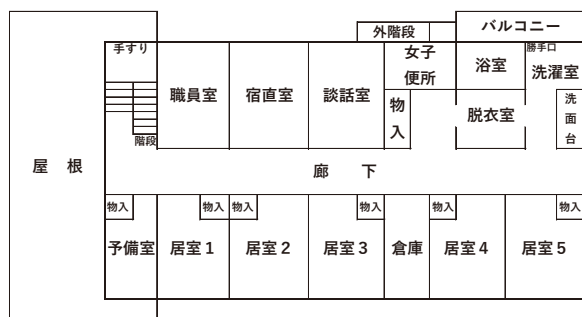
グループホームソレイユBは障害のある方が、小豆島でより安心して快適に生活できる施設にしたいと考えています。また、障害のある方が自立した日常生活、社会生活を目指すための重要な役割を担っている施設です。

関心のある方は、ご遠慮なく当法人にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

併せて職員も大募集しています。無資格・未経験者・高齢の方も大丈夫ですので、よろしく願います。

【☎75-2320】までお気軽にご連絡・ご相談ください。

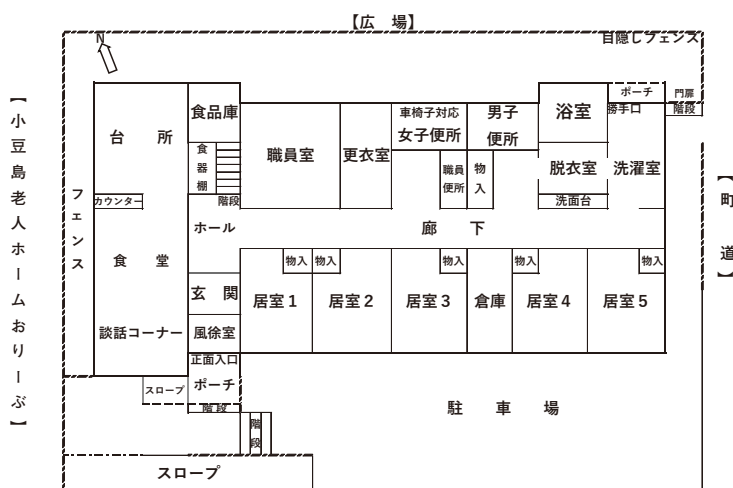
(管理者 若山朋子)



グループホームソレイユB 2階平面図



屋根、外壁等ができ上がった
グループホームソレイユB



グループホームソレイユB 1階平面図



上棟時のグループホームソレイユB

障害福祉サービス事業所 ひまわりの家

生活介護事業

ひまわりの家の行事として、5月16日に実施しました日帰りレクリエーションを紹介します。

今年、田井自治会のご厚意によって、田井浜キャンプ場を無料でお借りすることができました。多くの保護者の方も参加してくださり、就労の利用者さんが一生懸命栽培した新鮮な野菜を使つてのサラダや焼きうどんを、またいろいろなドレッシングでレタスのしゃぶしゃぶを味わうことができました。特に、屋外で仲間と楽しくコミュニケーションを取りながらの食事は格別のものでした。

昼食後には、周辺を探索しながら散歩を楽しみました。最後は、お借りしたキャンプ場や浜辺のクリーン活動を実施しました。仲間と協力してたくさんのごみを集めることができました。誰一人としてけがをすることなく、利用者さんの楽しむ姿を見ることができたことが何よりの喜びでした。

生活介護事業所では、回収した牛乳パックを再利用した新たな商品づくりを目指しています。また、

日々のレクリエーションにおいても、多くの利用者さんの笑顔が見られるような楽しい活動をするために職員同士で知恵を出し合っているようにしています。そして、利用者さんが毎日笑顔で楽しく通える事業所であり続けたいと頑張っています。

(生活支援員 三枝篤史)



お花見会での散歩風景
(オリビアン多目的グラウンドにて)



日帰りレクリエーションでの集合写真
(田井浜キャンプ場にて)

就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業所は総勢24名の利用者さんが毎日自分のできる作業に取り組み、その収益を利用者さんに還元する事業を展開しています。

主な作業は一粒一粒丁寧に手摘みで収穫した実をオリーブの新漬けにしたり、自社の搾油機でオリーブオイルに加工し販売したりしています。土庄町大商業まつりやJAふれあいまつり等にも出店して多くのお客様にご来店いただきました。

その他に、アルミ缶の回収・選別作業、八幡神社・宝生院の清掃作業、室内で製品梱包等の受託作業、自社商品の制作等も行っています。また、ひまわり農園を拡張し無農薬野菜の栽培・販売も行つて、利用者さんの家族、職員、近隣住民の方々にも大変喜んでいただいています。

利用者さんは、障害の種類も程度もそれぞれ異なり、高齢者の方も多くなっています。それぞれの利用者さんが8名の職員とともに一人一人の特性を存分に発揮できるように日々作業に頑張つて取り組んでいます。

就労継続支援B型事業所では、利用者さんの工賃向上を目指す

ともに、働くことの意義と喜びを分かち合いただきたいと考えて活動をしていますので、今後とも温かいご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

(職業指導員 森口忠幸)



自慢の
自社製オリーブオイル



オリーブの実の丁寧な手摘みによる収穫作業
(畝木オリーブ農園にて)

障害児通所支援事業所 すくすく教室

学校帰りの元気な「ただ今」の声
がすくすく教室に響きます。すくすく
教室は、乳幼児期から学童期まで
の発達気になるお子さんの困りご
とを少しずつ解決していくために、
一人一人の特性に応じた支援を行っ
ています。

『児童発達支援』では、就学前の
お子さんの特性に合わせて個別又は
小集団で療育をしています。その一
つの「すくすくキッズ」では、就学
前のお子さんが、運動や自由遊び、
制作活動を通して集団での経験を積
み、コミュニケーション能力や社会
性を高めていくように支援していま
す。苦手意識を克服し、得意なこと
をさらに伸長することで自己肯定感
を高め、就学に向けての準備をして
います。

『放課後等デイサービス』では、
下校後のお子さんが、宿題や個別支
援計画にそった課題（パズル、五十
音並べ、ぐるぐるしりとり等）に取
り組んでいます。自由遊びの後には全
員が参加できるアクティビティ
（ゲーム・ダンス・運動等）を職員
が企画して、楽しく仲間と活動する
時間を設けています。職員が手作り
したカルタや魚釣りなど、楽しい
ゲームに大盛り上がりです。また、
バスケットやサッカーのシールド

ゲーム、そしてモルックも大人気で
す。

月2回の土曜日には、平日にはで
きない行事をしています。「わいも
クラブ」では制作や外遊びを中心と
した活動を楽しんでいます。「ス
ポーツ教室」では障害者スポーツ指
導員の宮下先生が講師として来てく
ださり、運動機能向上を目的として
親子柔軟運動やトランポリン運動の
指導をしています。参加者が多数の
時は一人当たり三分程度のトランポ
リン運動になりますが、一人一人の
身体能力に応じた技の練習に取り組
んでいます。このトランポリン運動
も参加者に大人気です。待ち時間
はドリブルシュートや的当て、大縄
跳びなど、サーキットトレーニング
にチャレンジしています。「季節ご
との行事」では、春はデイキャンプ
で野外炊飯、夏は納涼大会で歌やダ
ンスの披露、秋は寒霞溪ハイキン
グ、冬はクリスマス会などの活動
をしています。

年間を通して、園や学校を訪問さ
せていただき体操教室を開いたり、
園や学校の先生にすくすく教室を見
学していただき情報交換をしたりす
るなど、関係機関の方々と連携を深
めています。

これからも、明るく元気に笑顔で
お子さんを支援し、「嬉しい・楽し
い・大好き」な心を育むことを目指
して職員一同頑張ります。

（児童指導員 石井昌彦）



すくすくキッズ
あじさいを作ったよ！



放課後デイサービス
大好きなどんぐりまん体操♪



わいもクラブ
魚釣りゲームを作ったよ！



スポーツ教室
トランポリン最高！！



収穫祭
甘いスイカをゲットしたよ！



すくすくクリスマス会
ケーキも作って食べたよ！



粘土教室で作成した飾り物
本物のいちごみたい

アラームが鳴り、一日がはじまります。身支度を整えてドアを開けると、まだ外は暗い中、バイクを走らせませす。ソレイユに到着して、朝食の準備をしていると、リビングに一人増え二人増えて、どんどん賑やかになっていきます。その内に、利用者さんの笑顔が弾け、心地良い空間になります。

まだまだ未熟者の私ですが、利用者さん一人一人の心に寄り添えるように、自分自身も成長していきます。

(世話人兼生活支援員 塩田康之)

共同生活援助事業所 ブループホーム ソレイユ

私は、令和7年11月からブループホームソレイユで仕事をしています。仕事内容は、日常生活に必要な支援の仕事です。例えば、洗面、食事、排泄、入浴、着替え等の介助です。夜勤の仕事は夜中の見回りや緊急対応です。

まったくの未経験者で右も左も何も分かりませんでしたが、働いているスタッフの皆さんがとても親切・丁寧に指導してくれまします。安心して働ける職場環境です。これからいろいろなと勉強して頑張ります。

(世話人兼生活支援員 土居 博)

短期入所サービス

当施設は、主に知的障害者を対象とした短期入所サービス(定員一名)も行っています。介護者の病気等によって自宅で介護できない場合や介護者の休息等を目的に、障害のある方に短期間ご利用いただくサービスです。ご利用中は生活支援員が、入浴、排泄、食事等のほか、日常生活上の必要な支援を行います。詳細につきましては、ブループホームソレイユ

【☎ 75-12320】までお気軽にご連絡・ご相談ください。

なお、ブループホームソレイユBが、完成後には短期入所サービスをとり止め、共同生活援助事業の入居者1名を募集する予定です。



大好きな食べ物のある誕生日会



日課のバイク乗り



つまみ細工教室で作成した夏の飾り

はたちを祝う会

今年度、ひまわりの家では、お二人の利用者さんの方が二十歳を迎えました。

このことをお祝いするために1月19日に「はたちを祝う会」を実施しました。お二人の未来がより豊かで希望に満ちたものになりますようにお祈りします。

(生活支援員 濱脇広子)



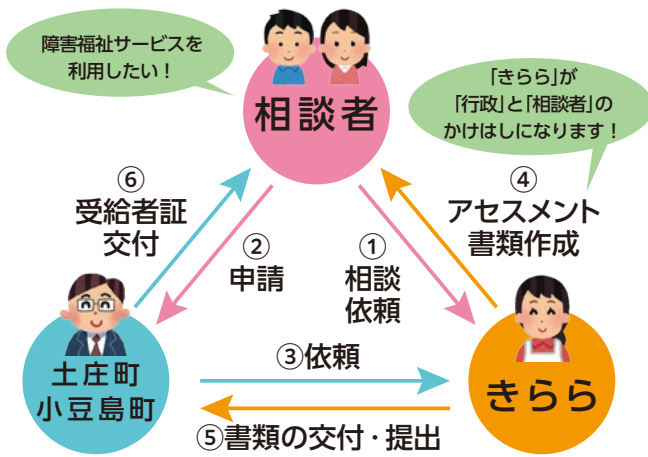
岡本拓海さん 森川美優さん 二十歳おめでとう！！

相談支援事業所

き
ら
ら

きららでは、障害のある人が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう福祉に関する各種の相談に応じ、必要な情報の提供・助言・支援を行っています。

●計画相談支援・障害児相談支援
障害者の方、障害児の方が利用する福祉サービスの利用計画の作成を行います。



利用計画作成時は障害者支援の内容説明、情報収集・関連機関との連携を行います。また、担当者会議やモニタリングも業務に含まれます。

●福祉サービスご利用までの流れ

- ①相談及び福祉サービス利用申請
- ②障害支援区分認定
- ③計画案の作成・交付
- ④支給決定
(受給者証の発行)
- ⑤サービス担当者会議
- ⑥本計画の作成・交付
- ⑦福祉サービス利用開始
- ⑧モニタリング
- ⑨変更及び更新申請

- 地域移行支援
- 地域定着支援
- 相談支援事業

皆さんの心に寄り添う支援を目指します。お気軽にご連絡ください。(相談支援専門員 谷口ふみ)

ブレイメンのおんがくたい

11月26日の午後、いつもの食堂が本格的な舞台のある劇場に変貌しました。その会場は、大阪府泉大津市のおはなしキャラバン「つばさ」の劇団員7人と日産労連の関係者6人が力を合わせて作り上げてくれました。

その劇場で日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」が創立70周年を記念して小豆島で思い出に残る人形劇「ブレイメンのおんがくたい」を上演してくれました。

当日、ひまわりの家とすくすく教室の利用者さんが、本格的な音響・照明による映像や音楽の刺激を受けながらライブ感のある人形劇を堪能しました。本当に生の感動を受ける楽しいひとときを過ごすことができました。

(管理者 橋本明彦)



ブレイメンのおんがくたい
おんがくたいに入ろうとした口バさん

ひまわり福祉会役員・評議員

理事長 橋本明彦
理事 岡裕

監事 岡野恵美子
理事 石井昌彦
理事 濱口勇
理事 松下龍雄
理事 外山洋文
理事 棟保博

(任期：令和7年6月29日～令和9年6月の定時評議員会終結まで)

評議員 松尾峰生

三木義雄
山口眞理子
川田澄子
三木功
大下淳
奥村忠

(任期：令和7年6月29日～令和11年6月の定時評議員会終結まで)

苦情解決委員会

苦情解決責任者 橋本明彦
第三者委員 川井和弘
棟保博
苦情受付窓口 古谷三枝

ひまわり福祉会 スローガン

令和7年度ひまわり福祉会では、虐待防止の観点から独自のスローガンを決めて
日々、よりよき支援に取り組んでいます。



ひまわりの家 「やる気、元気、笑顔」



すくすく教室 「うれしい♪たのしい♪だいすき♪を育てます」



グループホーム ソレイユ 「利用者さんのためのほっとホーム」



きらら 「利用者さんの心に寄り添う支援を!!」



貸借対照表

令和7年3月31日現在

社会福祉法人 ひまわり福祉会

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	82,997,660	流動負債	12,374,968
現金預金	53,253,690	事業未払金	11,729,671
事業未収金	28,962,736	職員預り金	396,657
未収補助金	300,000	仮受金	248,640
商品・製品	481,234		
固定資産	108,264,885	固定負債	6,919,671
基本財産	23,362,065	退職給付引当金	6,919,671
建物	22,362,065	負債の部 合計	19,294,639
定期預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	84,902,820	基本金	71,238,348
土地	95,000	基本金	71,238,348
建物	397,251	国庫補助金等特別積立金	15,893,217
構築物	1,423,322	国庫補助金等特別積立金	15,893,217
機械及び装置	177,665	その他の積立金	65,000,000
車輛運搬具	5,820,685	その他の積立金	65,000,000
器具及び備品	3,124,226	次期繰越活動増減差額	19,836,341
建設仮勘定	1,914,000	次期繰越活動増減差額	19,836,341
電話加入権	31,000	(うち当期活動増減差額)	12,106,815
その他の積立資産	65,000,000		
その他の固定資産	6,919,671	純資産の部 合計	171,967,906
資産の部 合計	191,262,545	負債及び純資産の部 合計	191,262,545

※詳しい財務諸表は、ひまわり福祉会のホームページに掲載しています。

【ご 寄 付】 ありがとうございました

(令和7年1月1日～令和7年12月31日) (敬称略・順不同)

(※)本人の意向により、掲載していない人もいます。

山本シズエ、岡野恵美、仲田恒彰、富田子、小豆更生活保護女性会、渥美紀子、平野紀子、(福)香川県共同募金会、(公財)中央競馬主社会福祉財団、富丘モータース(有)、こまめ食堂、九富千秋、(有)タムラサイクルセンター、藤本義則、高橋ひとみ、八木正弘、中村良弘

小豆更生保護女性会との交流

10月1日、畝木オリーブ農園にて小豆更生保護女性会の方々と利用者さんと一緒にオリーブ収穫を行いました。晴天のもと、汗ばみながら楽しく収穫をしてくださり、とても感謝しています。



J A職員さんのボランティア収穫

今年もJAの職員さんがボランティアでオリーブ収穫に協力していただき、本当にありがとうございました。



編集後記

令和7年は記事でご覧いただけたように、ひまわり福祉会はグループホームソレイユBの新築工事に着手するとともに、ひまわりの家は日帰りレクリエーションやJAふれあいまつり、すすく教室はスポーツ教室や収穫祭などのアクティブな活動を盛大に行いました。また、貴重な人形劇「ブレーメンのおんがくたい」の参観、もちつき大会や納涼大会の地域交流行事の開催などで大いに盛り上がり、地域の皆さんと触れ合うことができました。

編集委員会では、利用者さんのたくさんの笑顔や喜びを感じ取っていただける「ひまわり福祉会だより40号」の制作を心がけてまいりました。

令和8年も地域の方々と触れ合ってより多くの利用者さんの笑顔に出会える1年であればと願っています。

今後ともひまわり福祉会だよりをどうぞよろしくお願い致します。

(編集委員 橋本 石井 小浦 濱脇 谷口 若山 田中)

ひまわり福祉会ホームページ
QRコード

